

イマドキ

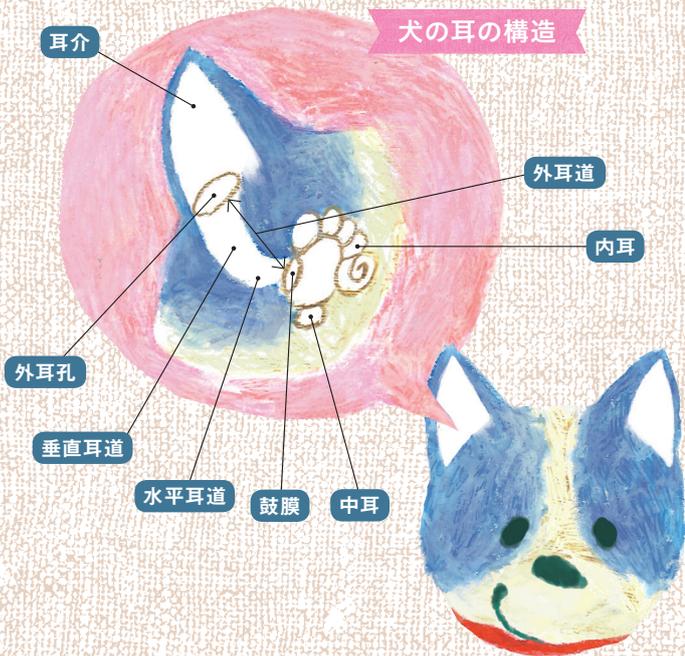
愛犬をまもるために知っておきたい

8月号の
テーマ

犬の医療事情

いぬのきもち 編集室作成

今月のテーマ 外耳炎



3月末～夏に発症・悪化。 外耳道は分泌物が溜まりやすい

外耳炎は、耳の中の鼓膜から外側の耳道が赤くなったり、腫れたり「炎症」が起こる病気です。耳の中は汗腺や脂腺が多く、さまざまな原因によって、汗などの分泌物や細菌が増えるため、炎症が起こり、かゆくなります。とくに温度や湿度が上がり始め、汗などをかきやすくなる3月末から4月にかけて発症しやすく、夏の間が悪化することが多いようです。

犬の耳道は狭く、L字に曲がっています。外耳炎による炎症により、耳道がさらに狭くなる、分泌物が増えて細菌が繁殖しやすくなるなどの条件がそろえば悪循環に陥りがちです。また、炎症が慢性化すると耳道が石灰化し、手術が必要になることもあります。進行すると、中耳炎や内耳炎になってしまうことも。犬が耳をかゆがる様子を見せたら、すぐに動物病院へ。早期発見と治療を心がけて。

こんなしぐさや
様子が見られたら
外耳炎
かも？



他にも

- 耳を触ろうとすると嫌がる
- 耳の中が赤い
- 耳からイヤなニオイがする など

イラスト / mollydomon

アニコム損保
ご契約者がマイページから
定期購読をお申し込みすると

2号(2ヶ月分)
無料!!!



こちらの特集は
2018年7月号
いぬのきもちに掲載中!
続きはぜひ本誌内で
ご覧ください♪